

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1993~1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

第145回 例会報告 (10/13)

司会者SAA 須藤 起雄

◇点鐘 会長 横倉 舜三

◇ロータリーソング「手に手つないで」
ソングリーダー 吉沢 洋景

◇お客様紹介 会長 横倉 舜三

戸澤 毅様	(多摩福祉サービス公社 常務理事)
篠塚 武雄様	(東京多摩RC)
久嶋 達也様	(")
守屋 隆範様	(")
佐藤 賢三様	(")
伊藤 勝幸様	(")

◆ 会務報告 会長 横倉 舜三

- 1) 来週は17日、18日の親睦旅行に続き20日のIM(インターシティ・ミーティング)そして25日のシンポジウムと行事が続きますので皆様のご協力をお願い致します。
- 2) シンポジウムについては、実行委員の皆さんのお骨りによって多数の方々からの協賛を賜り厚く御礼申し上げます。本日の午前中パネラーとの打合せを行い、内容についても煮詰めを行いました。大詰になりましたので、よろしく願い致します。

◆ 幹事報告 副幹事 菊池 敏

- 1) インド地震災害義援金について
ガバナー事務所より、去る9月30日未明インド マハラシトラ州ショラブル付近で起きた地震による被害は死者2万人を越すと見込まれる大災害となり、各クラブの自発的判断による募金活動をお願いしたいとのことですのでご協力をお願いしたい。
- 2) 米山月間に因みお願い
米山奨学委員長より説明があろうかと思いますが、10月は米山月間でもありますクラブ会員の皆さんの各段の協力をお願いとのガバナー事務所より要請がきております。本日、皆様のお手元に1992年度事業報告、よねやまだより19号を配布しておりますのでよく御覧になってご協力をお願いします。

3) IM参加のお願い

来週の例会は三分区合同IMに振替となっております。例会場を間違えないようにお願いします。

10月20日(水)

場所 ----- 京王プラザホテル(新宿)

12:00 登録開始

13:00 開会点鐘

委員会報告

◆ 出席委員会 委員 根本 泰寿

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日 報告	52	41	3	8	84.62%
前回 訂正	52	43	3	6	88.46%

メークアップ

萩生田茂夫 (10/12 多摩)

北村 幸彦

(10/12 会長・幹事会)

横倉 恒雄 (10/12 多摩)

欠席届出者

伊神 稔、風間 茂穂、小島周二郎

宮本 誠、高野 範城、鶴海英三郎

欠席者

隅 耕造、伊藤 巖



◆ 親睦委員会 委員長 吉尾警太郎

「誕生日・祝」横倉 議会員の誕生日祝いです。おめでとうございます。

次に旅行の件ですが、今日の日曜日、朝8時に、京王多摩プラザの前に集合です。又4名の方から心の参加を戴きました。有難うございます。

又、親クラブであります多摩ロータリークラブより、合同の親睦を兼ねた例会を開催したいとの情報がありました。賛成ですので今年の年末に計画してみたいと思います。決定しましたら連絡致します。

★★★★★★★★★★

ニコニコ BOX

★★★★★★★★★★

委員 大松 誠二

守屋隆範様 久しぶりのMAKEUPです。よろしくお願ひします。

佐藤賢三様 皆さんこんにちわ、またよせて下さい。

横倉 譲 今日60回目の誕生日です。元気で迎えることが出来たことを率



直に喜びたいと思います。

杉田 誠 10月8日初孫誕生、10月11日29回アニバーサリーシャンペンが美味しかったです。

遠藤 二郎 誕生日祝有難うございました。

藤本 吉文 10月10日私たち夫婦26回目の結婚記念日にシャンペンが届きました。親睦委員の皆さん心憎い演出有難う。

吉尾警太郎 親睦旅行へ4名、心の参加を戴きました。若林・奥木・小坂・吉沢会員感謝。

田中 實 1年前と変化激しい中国を廻ってきました。

高村 弘 すがすがしい秋になりました。

須藤 起雄 毎日天気の良い日ができました。続きます。旅行も天気が良いといいですね。

小島周二郎 結婚祝を有難うございました。

平野 行廣 お客様よろこそ

森田 舞子 秋晴が続いた為、例会があるのに、人に車を貸して、タクシーで来たドジな私。

以上 合計 33,000円

◆ 国際奉仕委員会

副委員長 高村 弘

サインバイノウ募金

8名 15,000円

今後尚一層のご協力をお願い致します。



◆ ロータリー情報委員会

委員長 赤尾 恭雄

本日は、14号と号外との二つを入れてあります。14号については「ロータリアン間の取引関係について」ということで説明してあります。他に「職業奉仕の原則とは?」「四つのテスト」を載せてあります。充分読んで知っておいて下さい。号外については「I・M」について載せました。会務報告、幹事報告にありました様に来週の例会日にI・Mがあります。最後に当クラブはイベント活動も活発になり、また出席率も向上して参りました。この勢いで今年を送りたいと考えます。

◆新しい多摩を考えるシンポジウム実行委員会

1) 実行副委員長 海野 栄一

- ・パンフレットに後援会の会社が一社増えました。財団法人多摩都市交通施設公社です。広告の原稿手元にお渡ししましたが誤りがあれば本日中に連絡ください。
- ・ニュータウンタイムズ新聞、全四段の広告も御覧下さい。こちらは私の全責任でやりました。誤りはないと思いますが、こちらは訂正不可です。
- ・プログラムスケジュールをお渡ししてあります。当日はそれぞれの部署で役割分担をお願いします。
- ・TAMAらいふ21より、チケットをいただきました各テーブル3枚づつお配りしました。どうぞお持ち帰りください。

2) 実行副委員長 足立潤三郎

- ・協賛をありがとうございました。今度は、動員の心配りをしております。会員一人当たり自分を含め4名以上の動員をお願いします。4名以上何名でも結構です。

3) 実行副委員長 永田 健作

- ・今日、花を50鉢用意しました。お持ち帰り下さい。当日の参加者への記念品はこれにします。入場券を10枚づつ配布しましたが、抜者印の欄に、各自印を押してお渡し下さい。

1. 真実かどうか

2. 皆に公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. 皆のためになるかどうか

とある。職業奉仕の分野にふさわしいものである。

1989年更に規定審議会では次の職業宣言が採択されております。事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に答えんとするものである。

1. 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。
2. 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳基準に対し、名実ともに忠実であれ。
3. 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を推進すべく全力を尽くせ。
4. 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し、等しく公正なるべし。
5. 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
6. 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
7. 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うに当たっては正直専一なるべし。
8. 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を同僚ロータリアンに求めず、また与えることなかれ。と宣言されております。

職業奉仕は会員個人の責務であるとされてきましたが、1987~88年度のRI理事会では、ロータリアン個人と、ロータリークラブの双方の責務であるとし、クラブ自身の行動に職業奉仕を生かすよう採択されました。

そこで青少年の雇用促進のための就職相談とか職業上の優れた実績のある方を職業活動表彰するとか、お互いの職業の情報をを行う職業情報、職業指導を行うとかに、分かれておりますが今年度は特に地元のボランティアのデータベースとして、ロータリアンのボランティア奉仕を提供できるようボランティアーズの名簿の登録の要請が去る

卓 話 (10/6)

「職業奉仕月間に因んで」

津守 弘範様

10月は職業奉仕月間であり、ロータリーの綱領の二番目に「事業および専門職務の道徳的水準を高めること、あらゆる有用な業務は尊重されるべきである」という認識を深めること、そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること」と理念が述べられている。

これは各自のそれぞれの職業を通じて奉仕の理想を生かして行くこと、それにはロータリアンの道徳的指標としての四つのテストがある。

9月27日の地区職業奉仕委員長会議でありました。

職業奉仕とはなかなか理解しにくいし、具体的に奉仕の実績を評価することは困難である。他の奉仕部門と異なり、ロータリアンが直接自分を奉仕の対象となります。元来その奉仕は実行を喜び体得し、結果として社会の弱者に対する喜捨という功德を積んで、同時に自己研鑽となることを感謝するものであります。これは佛教の精神と良く似ております。

佛教の精神には「自利利他」という言葉があります。自分を利益して、しかも他人の利益を図ることである。自利と利他を調和させるのが佛教の精神ですが、ロータリー精神が様々にいわれるのも、結局は「自利利他」の調和ではないでしょうか。ロータリー活動が、今日のように大変盛んになったのも、日本人の心の中に、この大衆佛教の「自利利他」の精神が深く残っているからだと言われます。更に先生は、現代人は、小さな自我を捨てて、いまこそ大我に目覚めなければならない。人間社会は小さな自我ゆえにトラブルが絶えない。今日のわが国の政治の姿も、またしかりである。ロータリー活動が、なぜ日本で、これ程発展したかに思いをいたそう。我々日本人の心に佛教の精神が深く根づいていたからだとしたことには四国の生んだ「空海」と「一遍」が教えてくれたからだと。この空海の開いた真言宗ではロータリーの四つのテストに変わるものとして「十善戒」というものがあります。人として正しく生きていくため、またはお互いに日常生活をしていく上で社会の秩序を正しく保つ上で必要な実践の道として、お経で唱えているものです。

- 1.不殺生 生きとし生けるもの、すべてこれ尊い生命、この生命を生かしあおう。
- 2.不偷盜 人のものを盗むまい。物も、心も、時間にも。
- 3.不邪淫 性の欲望に流されず、純潔を守ろう、正しい結婚生活を送ろう。
- 4.不妄語 常に勇気をもって、真実を語ろう。
- 5.不綺語 ことさらに言葉を飾るまい。
- 6.不悪口 人をそしり、傷つけまい。人には美点はあるものだ。
- 7.不両舌 無責任な二枚舌を使うまい。
- 8.不慳貧 与える喜びを知ろう。
- 9.不瞋恚 怒りは炎、自分も人も、やきつくす。
- 10.不邪見 かたよったものの見方は避けよう。

以上が我々真言宗のお坊さんが毎日唱えているお経の一部であります。この「十善戒」は

- 1.動作(行い)
- 2.言葉
- 3.心

と三つの分野に分かれております。これを「三密」と我々は称しております。だから、佛様にお線香やお焼香をする時は三本又は三回と言うこととなります。

人のために尽す道はいろいろあるが、日常不断にできるのは自分の職業を通じてのサービスである。その実践こそロータリーの本願であると思う。ポール・ハリスは「河の源流はただ一つの泉によるものでなく、幾百の溪流がそれぞれ山肌を流れて水路に注ぎ、水かさを増して大河を形成するに到るのだ」と、ロータリーの原点は各ロータリアン個人の心の中にあることを示している。そして各ロータリアンの心の高まりを実現するには、自己の職業を通じて奉仕することが根本であると教えております。

東京多摩グリーンロータリークラブ



会長：横倉 舜三 副委員長：森田 舞子
幹事：北村 幸彦 委員：海野 栄一・奥木 博勝・吉沢 洋景
会報委員長：小島 周二郎 小坂 一郎・佐伯 和廣

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30